

小学生向け体験型環境教育プログラム 「未来×エネルギー プロジェクト」を開始

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）とソフトバンクグループで教育事業を担う株式会社エデュアス（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤井宏明、以下「エデュアス」）、株式会社 教育と探求社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮地勘司、以下「教育と探求社」）は、iPad などの携帯情報端末を活用し、小学生向けに体験型の環境教育を行うプログラム「未来×エネルギー プロジェクト」を開始します。

まず 2012 年 7 月 1 日より営業運転を開始した京都府京都市伏見区のメガソーラー発電所「ソフトバンク 京都ソーラーパーク」と同じ伏見区内の明親小学校において最初に本プログラムを実施します。これは、京都市が行ったメガソーラー発電所設置事業者の公募において SB エナジーが提案した環境教育の内容に従って行うものです。

本プログラムは、昨今の環境問題やエネルギー問題に対する社会的な関心の高まりを背景に、未来を担う子供たちが主体的かつ創造的にそれらの問題を考える機会を提供することを目的としています。身の周りのエネルギーの存在や生活の中でのエネルギーの使われ方、自然界に存在するエネルギーの活用方法を、ワークブックや動画コンテンツなどの教材、グループワークなどを通じて学習します。特に iPad などの携帯情報端末を活用することで、子供たちの学習意欲と理解を高めます。

SB エナジーとエデュアス、教育と探求社は、携帯情報端末を活用した体験型環境教育の普及促進を図り、環境教育面での社会貢献に努めてまいります。

小学生向け体験型環境教育プログラム「未来×エネルギー プロジェクト」の詳細は以下になります。

【基本コンセプト】

「未来は未だ決まっていない。きみたちが地球の未来をつくるんだ」

【教育目標】

- ・身の回りにあるエネルギーの存在について知る
- ・生活の中でエネルギーがどのように使われているか知る
- ・自然界に存在するエネルギーを活用することが出来る事を知る

【授業内容】

- ・小学校に講師を派遣し、動画や iPad コンテンツを教材として活用するオリジナルのプログラムです。
- ・2 日間（計 4 時間）で実施するフルバージョンと 1 日（計 2 時間）で実施するショートバージョンのふたつがあります。

- ・ストーリーのある2つのステップを通して、生徒はエネルギーについての学びを深めます。
 <ステップ1「いろんなエネルギーを見つけよう」>
 動画教材を使用し、生徒のエネルギーについての関心を喚起します。そして、身の回りのエネルギーを自分で見つけて書き出すことで、主体的にエネルギーについて考え始めます。
 <ステップ2「自分たちのエネルギーを見つけよう」>
 チームをつくり、ステップ1で各自が考えたエネルギーの中から自分たちのエネルギーを決めて、その集め方や活用法について発表します。iPadがグループの進行役をつとめます。

【教材】

- ・ワークブック1冊
- ・動画教材4本（1日、2時間版は3本）
 エネルギーのイメージ喚起
 太陽光発電所紹介（ソフトバンク京都ソーラーパーク）
 ブレインストーミング説明（2日4時間版のみ使用）
 学習のまとめ
- ・iPadコンテンツ（学習を促進するためのデジタルコンテンツ）

【コンテンツイメージ】



《本プロジェクトにおける各社の役割》

- SB エナジー株式会社…運営主体
- 株式会社エデュアス…運営サポート
- 株式会社 教育と探求社…カリキュラム開発、運営サポート